

## 不老長寿は人間を幸福にするか

### 古今東西の伝説から先進医療まで

#### 1. 不老長寿（不老不死）に関する伝説など

- ① 不死伝説：ギルガメッシュ叙事詩（メソポタミナ）、タイタン（ギリシャ）、アース神族（北欧）
- ② 旧約聖書「創世記」：アダム（930歳）、セト（912歳）、ノア（950歳）、アブラハム（175歳）
- ③ 秦の始皇帝：不老長寿の仙薬探索に徐福一行を蓬莱国（日本）に派遣。各地に徐福伝説が残る。
- ④ 竹取物語：かぐや姫が養父母に不老不死の薬を贈ったが、富士（不二／不死）山頂で焼かせた。
- ⑤ ガリバー旅行記：ラグナグ王国の不死人ストラルドブラグの醜悪な超高齢者達（第三篇・第十章）。
- ⑥ 清朝公文書：四川省の漢方医・李青曇（り・せいどん）は256歳まで生きた。結婚23回、子供200人以上。彼は師匠が500歳まで生きたと言っていた。

#### 2. 寿命を左右する諸要因

- ① 遺伝子：長寿家系／ガン家系、発病率の人種差、発がん抑制遺伝子、三日月形赤血球とマラリア
- ② 食生活：栄養（飢餓／飽食、必須アミノ酸、ビタミン）、発がん性物質、発がん抑制物質
- ③ 生活環境：寒暖／乾湿、気圧（標高）、天候の季節変動、飲料水、大気汚染、自然放射線
- ④ 社会環境：コミュニティ、相互扶助、衛生状態、医療、治安、自然災害、戦争
- ⑤ 生活習慣：睡眠、過労／休養、精神的安定／心理ストレス、悲観的／楽観的、慎重／挑戦的
- ⑥ 高度な医療：人工臓器（人工心臓／ペースメーカー、血液透析）、臓器移植、遺伝子治療など

#### 3. 延命による長生きと幸福度

- ① 回復の見込のない患者への無理な延命治療の是非（高栄養点滴、胃ろう、人工呼吸など）  
日本では延命治療を中止した医師が殺人罪に問われる（例：人工呼吸器を外せない）
- ② 北欧には寝たきり老人がいない？・・・無理な延命治療をしないため
- ③ 宗教的な信条から死は神様の意思だとして輸血や手術などの医療行為を拒否する人達がいる。
- ④ 平均寿命＞健康寿命：「ぴんぴんコロリ」が理想？（コロリ地蔵への参拝が盛ん）
- ⑤ 尊厳死：国（米国では州）によって合法／違法が違う。殺人／自殺ほう助になる場合も。  
（古代ギリシャの「ヒポクラテスの誓い」が「死」のほう助を禁止している影響）
- ⑥ 社会問題：金持ちの延命のために行われる違法な臓器売買（場合によっては人身売買も）

#### 4. 討議のテーマ：

- （1）人は長生きすれば幸福なのでしょうか。長生きしたらどんな老後を過ごしますか。
- （2）皆が長生きするようになると、社会はどうなるのでしょうか。
- （3）不治の病気になったときに苦しくても痛くても延命治療を望みますか。
- （4）臓器移植しか延命手段がない場合、開発途上国で誘拐された子供の臓器を買いますか。